

京都を彩る建物を電気火災から守る 「岡墨光堂」へプレトラックコンセント、 住宅用分電盤を寄贈



岡墨光堂 本社



住宅用分電盤 (Ezライン)



プレトラックコンセント

2021年6月、文化財を電気火災から守る取り組みの一環として、書画の表装・修理を中心に事業を展開する株式会社 岡墨光堂に製品を寄贈しました。企業への寄贈は今回が初めてとなります。

株式会社 岡墨光堂は国宝・重要文化財など数々の文化財の修理をおこなってきた創業127年の老舗企業です。今回施工した本社も来年で築100年になる趣のある建物です。これまで使われていた分電盤は経年劣化がみられたので、プレトラックコンセントにあわせて住宅用分電盤も寄贈しました。

各所との調整を担当した

★株式会社 岡墨光堂の
奈良室長にお話を聞きました。



奈良 真一 総務課長兼経営企画室長

今回の寄贈について

京都市指定有形文化財の長江家住宅さまにプレトラックコンセントを寄贈したというニュースを拜見したことがきっかけで、さらなる安全性の向上を追求し、弊社にも導入できないかと、御社へ問い合わせいたしました。

貴重な発見

今回の工事を進めるなかで、屋根裏にて「大正十一年」と書かれた棟札を改めて確認することができました。築100年という歴史を実感することができ、次の100年も貴重な社屋を引き継いでいくように、改めて文化財を守っていく企業の一員として、貢献していこうという気持ちが強まりました。



客間

取り付けるにあたり、意匠の問題等の不安がありました。長江家住宅さまへの訪問を相談した際も先方を御紹介していただき、役員含めて現地での実見ができたことで、導入までスムーズに進めることができました。問い合わせから寄贈まで迅速に対応いただき、大変感謝しています。今回お世話になった電気工事店さまからも製品納入が早いと伺っています。こうした活動はぜひ今後もつづけてほしいです。



棟札



岡墨光堂ウェブサイト 岡墨光堂 Facebook

※棟札(むなふだ、むねふだ)とは：寺社・民家など建物の建築・修築の記録・記念として、棟木・梁など建物に取り付けた札のこと。